

## 紛争鉱物に対する取り組み

NISSHAグループの製品に使用しているおもな紛争鉱物は、転写箔や成形樹脂の一部およびタッチセンサー用ITOフィルム<sup>\*1</sup>に使用するスズ、そしてFPC<sup>\*2</sup>の金メッキに使用する金などです。同鉱物使用の有無の確認にあたっては、製品を構成するすべての材料をSDS (Safety Data Sheet) などにより調査し、対象の鉱物を確認しています。また、当社製品の材料の調達先であるサプライヤーのみならずには、Conflict Free<sup>\*3</sup>ではない精錬所で精錬された紛争鉱物を使用しないようご協力を依頼するとともに、責任ある鉱物イニシアティブ (RMI) の発行する「コンフリクト・ミネラル・レポーティング・テンプレート (CMRT)」を用いて順守状況を調査しています。

当社は「責任ある鉱物調達に対する基本的な考え方」を制定し、紛争鉱物に対する姿勢を表明しています。今後もこの考え方に沿って、Conflict Freeに向けた取り組みを誠実にすすめていきます。

### 責任ある鉱物調達に対する基本的な考え方

NISSHAグループは、コンゴ民主共和国およびその周辺国で産出される一部の紛争鉱物が、略奪・暴行・強制労働といった人権侵害に関わる武装集団の資金源となっていることについて深く憂慮します。

当社は2012年4月に国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に署名しました。私たちはMissionの実現をすすめるうえで、同10原則を重要な原則の一つとして認識し、人権侵害とかかわる紛争鉱物を使用した材料を当社製品に用いない考えとします。そして、使用が判明した場合は、ただちに是正に取り組みます。

1. 紛争鉱物を管理する仕組みを構築し、継続的に運用します。
2. 精錬業者情報などの紛争鉱物情報を、お客さまに迅速に提供します。
3. 取り組みの状況を、当社サステナビリティレポートで公表します。

今後も、当社としての社会的責任を果たすべく、責任ある鉱物調達に対し、誠実に取り組んでまいります。

制定 2014年3月12日  
改訂 2018年1月1日

NISSHA株式会社  
代表取締役社長 兼 最高経営責任者  
鈴木 順也

\*1 ITOフィルム: Indium Tin Oxide(酸化インジウムスズ)による透明導電膜をコーティングしたフィルム。

\*2 FPC: Flexible Printed Circuits(フレキシブルプリント基板)。柔軟性があり変形可能なプリント基板で、変形した場合にも電気的特性を維持する

\*3 Conflict Free : 紛争とは関係ないこと